

R元年度 豊かな地域資源を活かした「温泉×健康」による持続可能なまちづくり事業（地方創生推進交付金事業） 評価・検証シート

事業名	温泉×健康によるヘルスケア推進事業
計画・実施年度	平成29年度～平成31年度

●KPI①の設定数値

KPI	温泉入浴者数(人)(増分)	(基準値)H28	H29	H30	H31	
		1,036,000	40,000	20,000	30,000	

●KPI①に対する実績評価

KPI	温泉入浴者数(人)(増分)	(基準値)H28	H29	H30	H31実績	
		789,099	-4,729 (人数:784,370)	-15,957 (人数:773,142)	-32,492 (人数:756,607)	
	目標数値に対する達成率			-11.80%	-79.78%	-108.30%

●KPI②の設定数値

KPI	観光宿泊者数(人)(増分)	(基準値)H28	H29	H30	H31	
		530,000	10,000	40,000	45,000	

●KPI②に対する実績評価

KPI	観光宿泊者数(人)(増分)	(基準値)H28	H29	H30	H31実績	
		537,189	-22,933 (人数:514,256)	-27,541 (人数:509,648)	-32,222 (人数:504,967)	
目標数値に対する達成率			-229.33%	-68.85%	-71.60%	

●KPI③の設定数値

KPI	疲労ストレス測定器を設置する施設の温泉利用者数(人)(増分)	(基準値)H28	H29	H30	H31	
		212,000	20,000	10,000	10,000	

●KPI③に対する実績評価

KPI	疲労ストレス測定器を設置する施設の温泉利用者数(人)(増分)	(基準値)H28	H29	H30	H31実績	
		197,736	7,032 (人数:204,768)	-382 (人数:197,354)	-19,959 (人数:177,777)	
目標数値に対する達成率			35.16%	-3.82%	-199.59%	

● 29年度事業実績

(単位:円)

具体的施策		実施年度	事業費実績	財源内訳	
				地方創生推進交付金	一般財源
1	次世代ヘルスケア産業推進協議会の設置運営	平成29年度	135,000		
2	温泉入浴促進映像制作業務		1,649,268		
3	疲労ストレス測定器導入 4台		6,210,000		
4	ヘルスケア産業創出調査等支援業務		3,189,240		
5	玉川温泉岩盤浴地安全対策調査		5,940,000		
6	疲労ストレス測定器保守点検業務		43,200		
7	事業に係る消耗品・郵便料		167,559		
事業費計			17,334,267	8,667,133	8,667,134

● 30年度事業実績

1	次世代ヘルスケア産業推進協議会の運営	平成30年度	135,000		
2	映像コンテンツ制作		1,649,268		
3	疲労ストレス測定器保守点検・システム運用業務		518,400		
4	市内外ヘルスケア企業のマッチング事業		2,547,428		
5	ヘルスケアプログラムの開発及び周知		4,998,985		
6	ヘルスケアプログラムのモニターツアー		3,299,940		
7	事業に係る消耗品・郵便料		228,409		
事業費計			13,377,430	6,688,715	6,688,715

● 31年度事業実績

1	次世代ヘルスケア産業推進協議会の運営	平成31年度	120,000		
2	疲労ストレス測定器保守点検・システム運用業務		528,000		
3	パンフレットの多言語化（英語・中国語）		1,999,080		
4	ヘルスケアツーリズム海外プロモーション企画運営		3,789,901		
5	ヘルスケア産業事業発表会		144,000		
6	事業に係る消耗品・郵便料		192,890		
事業費計			6,773,871	3,386,935	3,386,936

● 具体的施策に対するPDCA

○取り組み内容(Plan)*31年度

- 1.仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会の運営
- 2.パンフレットの多言語化(英語・中国語)
- 3.ヘルスケアツーリズム海外プロモーション企画運営
- 4.ヘルスケア産業事業発表会

○どのような施策を実施したか(Do)*31年度

- 1.仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会の運営
平成29年度、30年度の各実施事業と平成31年度事業の確認、これまでの事業の取り組みを市民向けに紹介するヘルスケア産業事業発表会の計画について意見交換や運営を行った。
- 2.パンフレットの多言語化(英語・中国語)
健康増進ガイド「温さんぽMAP」の英語、中国語版(簡体字・繁体字)を各2,000部作成。市内の各宿泊施設、農家民宿、温泉施設等へ配布したほか、市のHPへ掲載した。
- 3.ヘルスケアツーリズム海外プロモーション企画運営
中国・深圳で開催された国際旅行博において、観光客誘致やインバウンド需要の増加を図るため、仙北市のPR活動や旅行商品の造成を目的としたセールス活動を行った。
- 4.ヘルスケア産業事業発表会
仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会のこれまでの取り組みを市民に紹介する「仙北市まるごと温泉健康サミット」の実施と共に、現代版の湯治文化の再創造を目指し、市民の健康増進とヘルスケア産業の創出と振興を図る「ヘルスケア宣言」を行った。

○結果をどう分析するか(Check)*31年度

- 1.仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会の運営
計3回を予定していた協議会は、コロナの影響で2回の開催となったが、関係機関と情報共有及び連携を図り、予定していたヘルスケア事業を全て実施することができた。協議会は令和2年3月で閉会となったが、今後も市や協議会メンバーの各施策について相互に協力していく方針。
2回開催 令和元年7月10日(26名)・令和元年11月14日(22名)
- 2.パンフレットの多言語化(英語・中国語)
近年、外国人観光客が多く訪れる中、健康増進ガイド「温さんぽMAP」の外国語版パンフレットを作成、配布したことで、仙北市のPRや外国人観光客の健康増進や利便性向上に寄与した。
- 3.ヘルスケアツーリズム海外プロモーション企画運営
中国・深圳で行われた国際旅行博において、仙北市のPR及び旅行商品造成を目的としたセールス活動を実施。仙北市のPRについて、中国のSNS(Weibo、Wechat)に仙北市のPR動画を掲載し、1ヶ月間での視聴回数が約28万件となり、多くの方に仙北市をPRすることができた。また、旅行商品の造成については、1社から旅行商品の成約、3社が商品造成に向け、前向きに検討する結果を得ることができた。
- 4.ヘルスケア産業事業発表会
仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会のこれまでの取り組みを市民に紹介する「仙北市まるごと温泉健康サミット」を開催。予定参加者数100名を大幅に上回る約200名の方にご参加いただき、協議会の取り組みを広く周知することができた。また、協議会の設立目的でもある現代版の湯治文化の再創造と市民の健康増進、ヘルスケア産業創出と振興を図る「ヘルスケア宣言」を行い、ヘルスケア事業を推進する仙北市を市内外に広く発信することができた。

○どうすればより効果が得られるのか(Action)

仙北市次世代ヘルスケア産業推進協議会について、令和2年3月をもって閉会となったが、市や協議会メンバーの各施策に対して協力関係を活かした取り組みを行っていくことが重要である。
パンフレットの多言語化について、外国人観光客の健康増進ガイドとして積極的に活用されることで、仙北市のPRや情報発信に繋がることが期待される。
ヘルスケアツーリズム海外プロモーション企画運営について、事業として一定の成果を得ることができた。より、効果的なものとするためにも、SNS等に継続的に情報発信を行っていくことが重要となる。
ヘルスケア産業事業発表会について、ご参加いただいた多くの方々が、健康増進に繋がる正しい温泉入浴や運動を日々、継続して取り組んでいただくことが重要である。

有識者会議による検証・評価

意見

コメントなし

評価

○

◎取組の深化・発展
△取組の見直し

○取組内容の継続
×取組の中止・終了